

平成26年度雄武町子ども・子育て会議（第6回）会議概要

日 時：平成27年3月25日（水）13：27～14：12

場 所：雄武町役場 庁舎別館 中会議室

出席者：北畑会長、牧野、工藤、相坂、直井、渡邊、斉藤、小野
中村所長、八重樫保育士
佐々木課長、大水係長
石井課長、澤田補佐、佐藤係長、武藤係長
豊田課長、新谷補佐、佐々木係長、内宮係長

1 開会

2 会長挨拶（北畑会長）

3 議事

子ども・子育て支援事業計画（案）

事務局（豊田課長）から子ども・子育て支援事業計画の案について説明。

<協議事項>

- ・68ページ、施策4オムイ塾のうち「学校支援ボランティア」の文言を追加することについて、教育委員会と検討を行い、文言を修正することとした。
- ・軽微な修正についての意見あり。
- ・その他意見がなかったことから、本計画案については承認された。

4 その他

会長から、事業計画が承認され一区切りとなることから、各委員へ感想や会議のあり方、要望などについての発言が求められる。その後、牧野委員から担当各課へ同様の発言が求められる。

直井委員：いるだけになってしまい、意見が言えなかった。役に立ったのか分からない。雄武町の子供達のことについて皆で良くしていこうと話し合うのは良いことだと思った。

渡邊委員：ほとんど意見を言うことができなかった。役に立ったか分からない。色々な人の子どもに対する意見が聞けてよかった。

齊藤委員：町の子どもに対する意見を聞く機会となり、良い経験となった。
もっと多くの保護者が参加できればと思う。

小野委員：委員という立場で参加できたことは大変光栄で勉強になった。この
あと更に計画の進行状況等を一緒に考えながら、よりよい雄武町の
子育ての箱作りができて行けば良いと思う。

相坂委員：色々な事業が行われていることを知らず、今回参加して勉強になっ
た。これからもやっていきたい。

工藤委員：引越しして2年くらい経ったが、分からないことだらけであった。
会議に参加させてもらって町の考え方や皆が良くしようと思っ
ていることが理解でき、良かったと思う。

牧野委員：この会議がスタートした時から、どちらを向いて何をしようとして
いるのかがよく理解できなかつたのは私だけだったのかと今にな
って気付いている。改めて雄武町はやはり子育て支援に向けての事
業の多さを感じた。個々に色々な相談件数があるかと思うが、保護
者はどのような悩みを持っているかということを定期的に共有し、
それぞれの部署で共有して欲しい。委員から意見を述べる機会があ
ったが、参加した各部署のそれぞれが感じたことを聞かせて頂けれ
ば嬉しい。

佐々木課長：地方創生ということで今後5ヵ年の地域が元気になる計画を作
る準備を進めている。所管は財務企画課となるが、その中でも子
育て支援の部分がかなり重要なポイントになってくると思っ
ている。計画については平成27年度中に作成する予定だが、子育
て支援、若者の関係等、とにかく地方が元気になるという計画を
作っていかなければならない。我々が作る計画にも協力や意見を
お願いしたい。

石井課長：町づくりは人づくり、ということを教育委員会としては重要視して
いる。社会の情勢変化に応じて共通の課題を持ち、意見を頂きたい。
今後の町づくり、人づくりに知恵を貸して頂きたい。

中村所長：私自身、昨年人事異動でこちらに回ってきた。子育てとか児童福祉については携わっていなかったが、今回制度改正や計画に携わって改めて勉強させて頂いた。期間のない中で色々な住民の方のニーズを全て取りこめた計画というのにはまだまだ足りないのではと思うので、今回この計画を継続的に見直しをかけていきたい等、この計画を土台にして皆様の意見を頂いた中で、発展的にこの計画をもっとより良いものにどんどんしていければと思っている。

豊田課長：この計画を進めて行く上で不慣れな点が多く、大変申し訳ないと強く思っている。時間のない中で4～5回を予定していた会議が6回開催できたことは嬉しく思う一方、もっと早くに会議を行ってれば内容を濃くできたのではという反省がある。自分が知らない子育て支援も色々な部署で行っており、町全体、社会全体で子育て支援を繰り広げているのだなと実感した。担当する職員を事務局として多数呼んだことで委員がやりにくいのでは思ったが、色々な部署も関わりながらこの計画を作りあげていきたいという思いもあり、ちょっと威圧的だったかもしれないがこれだけの人数を揃えた。今後もこのような形で進めていきたい。この計画については決してこれで終わりではなく、どんどん進化させていくものである。時代と共に子育ても変化しており、少子化も今後進んでいくと考えられる。少子化対策を本当に考えた場合、他にも更に計画していくことがあるのではないかと思う。このようなことについても今後進めて行きたいと考えており、皆様のお知恵を借りたいと思っている。半年足らずだったがご協力頂いたことに感謝するとともに、今後も皆様に参加して頂いてもっともったこの計画が生き物のように育っていくような会議にしたいと思うので、これからも協力をお願いしたい。

北畑会長：転勤等で他町村の様子は見てきたが、これだけ多くの部署が携わって会議を行っているところはそんなにない。基本的に行政なので縦割りが多いが、この子育て会議は行政がひとつになるところが良い。それぞれの部署が子育てに携わっているということが理解できたのではないかと思う。問題は計画を策定した後、どのように発信していくのかである。これだけたくさんの事業を行っているのにも関わらず、そのことを知らない人も多いことから、計画を知る手がかかりになるようなものがあれば良いと思う。小学校入学前から高校生まで医療費など手厚く支援を行っており、これは大きな町ではあり

えないことである。この環境が恵まれているこということを町民に伝えられたらと思う。色々な部署が協力し合いながら子どもを育てていくというところに、最後は力を入れていかなければならないのではないか。

次回会議について

- ・次回以降の会議については次年度（平成27年4月以降）開催とする。
日程については後日会長と日程相談の上、連絡する。